

優秀賞

文化施設
(北海道地区)

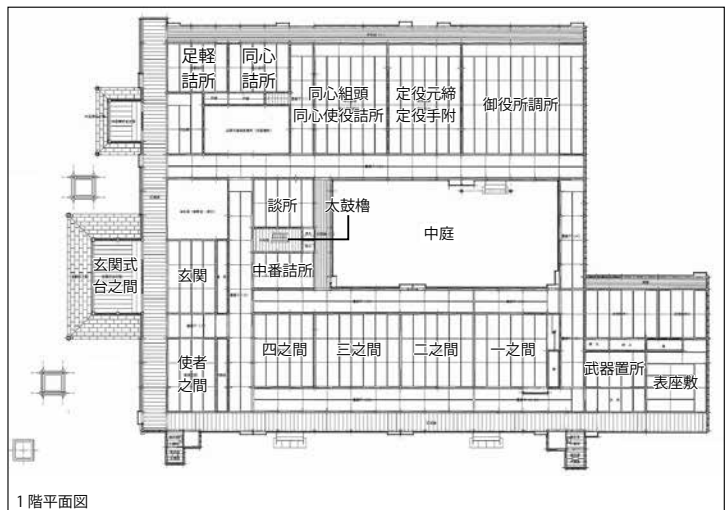
箱館奉行所



復元された大広間

奉行所南西面

所在地	北海道函館市五稜郭町1番1
敷地面積 (m ²)	250,835.51
建築面積 (m ²)	1,033.38
延床面積 (m ²)	979.40
構造/階数	W造/地上1 (一部5層)
事業者	函館市
設計者	(株)文化財保存計画協会
施工者	(株)竹中工務店北海道支店、加藤組土建(株)、 (株)石井組、(株)野辺工務店、(株)明匠建工
竣工年月	2010 (平成22)年6月
総工事費	1,850百万円



箱館奉行所は、幕末の箱館開港に伴い江戸幕府の役所として建設(1864年完成)され、わずか7年で解体されてしまうが、約140年の時を経て当時の姿をそのままに復元された施設である。

復元整備に当たって、長い年月をかけ、発掘調査やわずかに残された文献資料、古写真・図面など学術的根拠に基づき、推測を許さず可能な限り当時の姿を再現した点で、歴史的・文化的価値の意義が極めて大きいといえる。また、特別史跡五稜郭跡の遺構面の保護を最優先にしなければならない困難さを克服した施工や、当時の伝統的建築技法(木組、土壁、瓦葺き、漆塗り、建具など)を用いた伝統技術の維持継承に貢献したこと、さらに繰り返しモックアップによる検証を行うなど、可能な限り当時の空間の再現を追求した姿勢は高く評価される。

施設の運営においても、建設後7年の経過を感じさせない行き届いた維持管理に加え、市指定管理者でありながら、スタッフ全員が建物の歴史に精通し、施設案内ガイドが可能という意識の高さには特筆するものがある。

長年の夢を叶えた箱館奉行所の復元により、周辺地域の文教施設等との交流の活性化が図られるとともに、その歴史的特性をまちづくりにつなげ、函館市のみならず北海道における文化の向上と教育の発展に大きく寄与している。さらには、復元の質の高さが、北海道唯一の特別史跡の価値を高めることにつながり、観光地振興に大きな役割を果たしている。

特別史跡内の復元建物

箱館奉行所は、五稜郭の中にかつて建っていた建物を復元したものです。

国の特別史跡内に復元するため、できる限り往時の姿を再現することに努めました。

発掘調査により建物遺構の詳細な位置を割り出し、古写真を画像解析して建物外観の詳細を検討し、また文献資料により各部屋の部材寸法や材料にもこだわりました。また資料により裏付けが取れなかった襖絵や壁紙は無地とし、建具意匠は類似建物を参考とするなど、復元根拠を十分に検討して建物の復元に取り組みました。

その結果、古写真どおりの建物が復元でき、幕末の雰囲気を感じられる五稜郭の景観が再現できたかと思えます。

(野村祐一・函館市教育委員会文化財課)